

OCP-IP、「CORECREATOR 4.0」を発表

オレゴン州ポートランド—2005年1月11日— Open Core Protocol International Partnership (OCP-IP)は本日、CoreCreator 4.0の公開を発表しました。オープンコアプロトコル(OCP: Open Core Protocol)実装の認証に、単一のグラフィカルもしくはコマンドベースの環境となったCoreCreator。バージョン 4.0 はOCP 2.0に完全準拠、そしてサポートしています。

CoreCreator 4.0は効率的なIPコアの再利用とSoC統合に、コアモデル、インターフェイス、タイミングパラメータ、合成スクリプト、テストベクトル、そして検証スイートの生成とパッケージングを能率化します。さらに、一つのコア(もしくは複数のコア)を促進するための環境、およびシステムでの性能と機能を解析するための環境も提供します。

ツールは、既存のIPコアのインポートや新しいIPコア作成のための総合的な設計の環境、OCPプロトコルや物理的な制約への準拠性の検証、最大周波数およびゲートエリアが推定できることが特徴です。自動化された環境で、コンフィグレーション、シミュレーション、論理合成、タイミング解析、そしてコンフィグレーションファイルとタイミング制約を自動生成するためのTCLスクリプトも利用いただけます。物理的制約のエクストラクタとパッケージ、スキャンテストや機能ベクトルなど、必要な全ての検証ファイルのパッケージもご用意しました。

CoreCreator は、コアおよびシステム開発を分離。複数のコアを並行に開発することが可能です。結果、設計に要する時間とリスクを軽減し、マーケット化までの期間を短縮するためのコアのデバッグとシステムレベルの設計検証が可能となりました。CoreCreatorの設計環境は、ユーザーがEDAプロバイダー、ツール、設計手順を選ぶ自由を持つことができるものです。

多数の検査、検討を経て、発表を承認されたバージョン 4.0 は、OCP 2.0 仕様の最新強化分野を全てサポートしています。

業界の主要企業が認証した CoreCreator 4.0。OCP-IP メンバーの方はウェブサイトwww.ocpip.orgで入手いただけます。さらに、ウェブサイトを通してメンバーの方には OCP 2.0 トレーニングの最新バージョンが新たにご利用いただけるようになりました。

OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP)は 2001 年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP)を推進・サポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee にはノキア社[NYSE: NOK]、テキサス・インスツルメンツ[NYSE:TXN]、ST マイクロエレクトロニクス[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ (東芝アメリカ電子部品社((TAEC))を含む)、ソニックスが参加しています。OCP-IP は非営利団体。完全に支援された、オープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCP は IP コアの再利用を容易にし、SoC 設計期間やリスク、製造費を軽減します。VSIA は OCP ソケットを支持していて、OCP-IP は VSI アライアンスに加入しています。詳細な背景やメンバーシップ情報は www.OCPiP.orgをご覧ください。

すべての商標およびサービスマークはそれぞれ各社の所有物です。